



2012  
秋季号

# ほっと石川



巻頭インタビュー

ロンドン五輪

柔道女子金メダリスト

**松本 薫**選手

特集

**小松&能登**

**ふるさとの空港に行こう**



今年夏に開かれた世界最大のスポーツの祭典・ロンドン五輪で、柔道女子57キログラム級の金メダリストとなった松本薫選手（金沢市出身）に、9月、県民栄誉賞が贈られました。贈呈式に出席した松本選手に五輪や帰国後の思い出、金メダルまでの道のりなどを語ってもらいました。

# 松本

巻頭インタビュー

# 薫

選手

多くの方々の応援に  
元気をもらっています。



## ●受賞を機に一層の精進を

この度、県民栄誉賞という素晴らしい賞をいただき、本当にありがとうございます。受賞は2000（平成12）年の松井秀喜選手以来2人目とのことで、うれしさと同時に、今後さらに精進をしていかなければと感じています。

県民栄誉賞受賞のきっかけとなったロンドン五輪を振り返ると、これまで出場してきた大会とは全く違い、メディアの数が非常に多く、注目度の高さをひしひしと感じました。そんな中で持てる力を発揮し、念願の金メダルを獲得できた一番の理由は、「集中力」です。大舞台に臨む前、すでに試合を終えていた柔道女子日本代表の福見友子選手か

ら「頑張れ」、中村美里選手からは、「金メダル第1号は松本さんだからね」と励ましの言葉をかけてもらいました。仲間からのエールでスイッチが入り、目の前の試合に集中できたのだと思っています。

## ●成長のきっかけは09年の世界選手権

もちろん、ロンドン五輪の優勝は、代表を逃した北京五輪後の一つの成長の証でもあると思います。中でも、自分の柔道を見つめ直すきっかけとなったのが、2009（平成21）年に出場した世界選手権です。その大会では、準々決勝で右手の甲を骨折するアクシデントがあり、冷静さが要求される場面だったので、冷静になることがで

きないまま、相手に向かっていきました。結果は、メダルにも手の届かない惨敗でした。

ただ、この大会を通して、自分をコントロールする大切さを学びました。それがターニングポイントとなり、状況を判断し、落ち着いて試合に臨むことで、世界の舞台でも勝てるようになりました。

## ●一本とる柔道を追求したい

五輪後は、ふるさと石川県をはじめ、全国各地の皆さんと接する機会が数多くありました。中でも、印象深いのは、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県東松島市を訪問したことです。正直、行く前は「被災地で何ができるのだろう」と

考えていましたが、会場に入ると皆さんが笑顔で迎えてくれて、かえって私の方が元気をもらいました。

また、行く先々で声をかけていただいたり、東京・銀座などのパレードでは大勢の人に集まっていたいたりするなど、たくさんの方々に応援していただいていたことを実感し、とても感謝しています。今後は一層練習に励み、立ち技でも寝技でも一本をとれる柔道を追求していきたいと思っています。

【プロフィール】

まつもと・かおり  
1987年金沢市生まれ。6歳から地元の岩井柔道塾（金沢市）で柔道を始める。金沢学院東高校から帝京大学に進み、2010年同大学を卒業後、現在フォーリーフジャパンに所属。10年に世界選手権で優勝するなど、数々の世界大会で優勝を飾る。12年のロンドン五輪では、柔道女子57キログラム級を制し、金メダルを獲得した。

▼ 記念品として輪島塗のパネルが贈られました

▼ 谷本知事から県民栄誉賞を贈呈

▼ ロンドン五輪で積極的に攻める松本選手（写真提供：共同通信社）



”集中力“で念願の金メダルを獲得





# Contents 目次

## 2012 秋季号

巻頭インタビュー  
松本薫 選手 ..... 2

特集  
小松&能登  
ふるさとの空港に行こう ..... 4

トピックス  
日本の未来を創る  
次世代産業を石川から ..... 12

知事の窓 ..... 14

ほほえみ 石川のボランティア  
加賀新舞踊初祥会 (加賀市) ..... 14

能登有料道路の愛称が  
ふるさと紀行  
『のと里山海道』に決定! ..... 15

いしかわ子ども交流センター  
プラネタリウム 百万星 ..... 16

南北に細長い石川県には「小松空港」と「能登空港」の2つの空港があります。今号では、観光やビジネスで多くの人が利用する両空港の最新情報を特集します。さらに、お出かけスポットとしても気軽に楽しめる2つの「ふるさと空港」の魅力についても紹介します。

### 11路線が就航する 日本海側の拠点空港

小松空港では現在、東京（羽田）・札幌（新千歳）・仙台・成田・福岡・那覇の国内6路線、ソウル・上海・台北の海外3路線に旅客定期便が就航しています。加えて、ハワイやマカオなどへのチャーター便も運航され、年間約200万人の方が利用しています。また、欧州や北米と結ばれる国際貨物定期便も運航されており、国際航空貨物の取扱量は、年間約1万6000トンで全国第7位



です（平成22年度実績）。このように小松空港は国内外と石川県を結ぶ人・もの交流拠点として成長してきました。26年度末に予定されている北陸新幹線の金沢開業など、小松空港を取り巻く環境の変化に対応するため、今年度、小松空港活

性化委員会を設置し、航空ネットワークの維持・充実や空港の利便性向上など、一層の活性化策に知恵を絞っています。

私たちが  
小松空港の  
魅力を  
紹介します



北陸エアターミナルビル  
石川 小松空港  
石川 小松空港  
石川 小松空港  
JALスカイ金沢  
中原安菜さん  
ANA金沢地区  
総代理店  
木村円さん



# ふるさとの 空港に行こう



能登空港

### 開港から10年目 首都圏と能登を結ぶ

今年7月に開港から10年目に入った能登空港では、首都圏と能登を約1時間で結ぶ羽田便が毎日2往復しています。開港以来、全国の地方空港に先がけて「搭乗率保証制度」を導入し、東日本大震災の影響で利用客が大幅に落ち込んだ8年目を除き、目標搭乗率（開港4年目を除き62%）を達成しています。

その原動力となっているのが、県と地元自治体とが一体となって行っているお得なキャンペーンや割引制度などの利用促進策です。さらに、昨年7月には、首都圏の観光特使や県ゆかりの方々からなる「能登空港広



援隊」を結成し、応援隊が友人や知人に能登旅行を提案するなどクチコミを生かした草の根活動を展開しています。また、ターミナルビルに行政サービスのセンターや、パスポートの申請・交付窓口があるなど、数々の機能を備えている点も特色の一つ。未来の航空業界を担う若者たちが学ぶ日本航空学園のキャンパスも隣接し、空港利用者だけでなく、幅広い世代の地域住民にぎわう場となっています。



能登ふるさと博  
マスコットキャラクター  
のとドン  
日本航空高校石川  
出口雄大さん  
日本航空専門学校石川  
花本愛美さん



# とってても便利! 台北便が 12月から毎日運航に

国際線を使って  
小松から海外へ



## 国際線がますます充実

小松空港では、ソウル、上海、台北の国際3路線が就航しています。国際線の利用者数は右肩上がりが増え、チャーター便を含めると、平成23年度には前年度よりも7千人以上多い過去最高の約12万人の方が小松空港を使って世界各地を歩き来しました。利用者数の増加を背景に、9月からは台北便が1便増え、週

5便となりました。10月には谷本知事が台湾訪問時に台北便を運航するエバー航空でトップセールスを行うなど、県では一層の利便性向上を働きかけており、12月5日からは1日1往復するデイリー化が決定。小松空港では初めて毎日運航する国際線となります。

また、来年2月には上海便も週4便から5便となる予定で、富山空港と合わせると、北陸と上海を結ぶ国際線が毎日行き来する体制が整います。

## 昨秋、北米定期貨物便就航

国際貨物便では昨年10月、毎週日曜に北米へ向かう定期便が就航しました。北米貨物便はルクセンブルクを出発し、香港、小松、シカゴ、ニューヨークなどを經由しルクセンブルクに戻る世界一周ルートです。



▲小松-台北便は現在、月・水・木・金・日曜日に運航中。12月からは待望のデイリー化が実現



▲小松-上海便。来年2月からは週5便に

▲世界をつなぐ貨物便

県内企業が海外ビジネスを活性化するため、県では、エコにこだわった旅のスタイルを提案し、能登空港を利用した誘客を図っていきます。

## Interview “小松空港” 利用者の声

海外旅行は荷物も多く、空港までは自家用車を利用したいです。小松空港は国際線利用者が無料で駐車できるので、とても便利。今度、台湾へ行ってみたいですね。



団体職員(金沢市)  
小松 祐子さん  
こまつ ゆうこ

国際航空貨物の輸出入で小松空港を利用しています。貨物が到着した後の手続きがスピーディーで、きめ細やかなサービスが受けられる点が魅力ですね。



上田運輸(小松市)代表取締役  
上田 真さん  
うえだ まこと

能登空港を利用して首都圏はもちろん、羽田乗り継ぎで全国からお客が増えました。私も出身のオーストラリアへ帰省する際などによく利用していますよ。



民宿ふらっと(能登町)ご主人  
ベン・フラットさん

輪島塗の製造・販売をしています。首都圏のお客が多く、飛行機は大切な交通手段です。家から東京の拠点までは2時間ほど。気軽に出かけられますね。



藤八屋(輪島市)  
本店・工房長屋店代表  
塩士 純永さん  
しおじ じゅんえい

## 里山里海の恵みを贈呈

能登空港では、世界農業遺産に認定された能登の里山里海と連携した企画が目白押しです。その一つが「能登の里山里海の恵みオーナー権プレゼントキャンペーン」。11月30日までに、能登-羽田便の搭乗券を専用用紙に貼って県空港企画課内の事務局に応募すると、抽選で能登牛や能登産のお米、牡蠣<sup>かき</sup>など、好きな能登の特産品のオーナー権が当たります。



7月からは、空港到着後の2次交通にも便利な「能登スマート・ドライブプロジェクト」がスタートしました。これはトヨタ自動車などと連携し取り組むもので、里山里海の魅力に触れる観光施設や道の駅など21カ所に電気自動車の充電スポットと公衆無線LANを設けています。

また、同プロジェクトを契機に、能登空港などのトヨタレンタ

## エコにこだわった旅のスタイルを提案

オーナーには収穫後にそれぞれの幸が贈られるのはもちろん、希望すれば飼育や田植えなどの作業体験ができる点が特徴で、全身で能登の魅力を感じられます。

キャンペーンについて詳しくはこちら  
[www.notohantou.net/](http://www.notohantou.net/)

タリース石川ではプラグインハイブリッド車を配備。能登観光をサポートするスマートフォン向けアプリ「Dri Much」の配信も始まり、能登を巡る4つのコースを紹介しています。

県では、エコにこだわった旅のスタイルを提案し、能登空港を利用した誘客を図っていきます。

# とっててもお得! 能登-羽田便利利用で 特産品オーナーに



▲能登空港では、充電スタンドを2基設置

## Interview “能登空港” 利用者の声



小松は最多の33区間

小松・能登空港で行き来できるのは、定期便が就航する地域だけではありません。同日中に羽田空港などで乗り継げば、お得な価格で全国各地への空の旅が楽しめます。

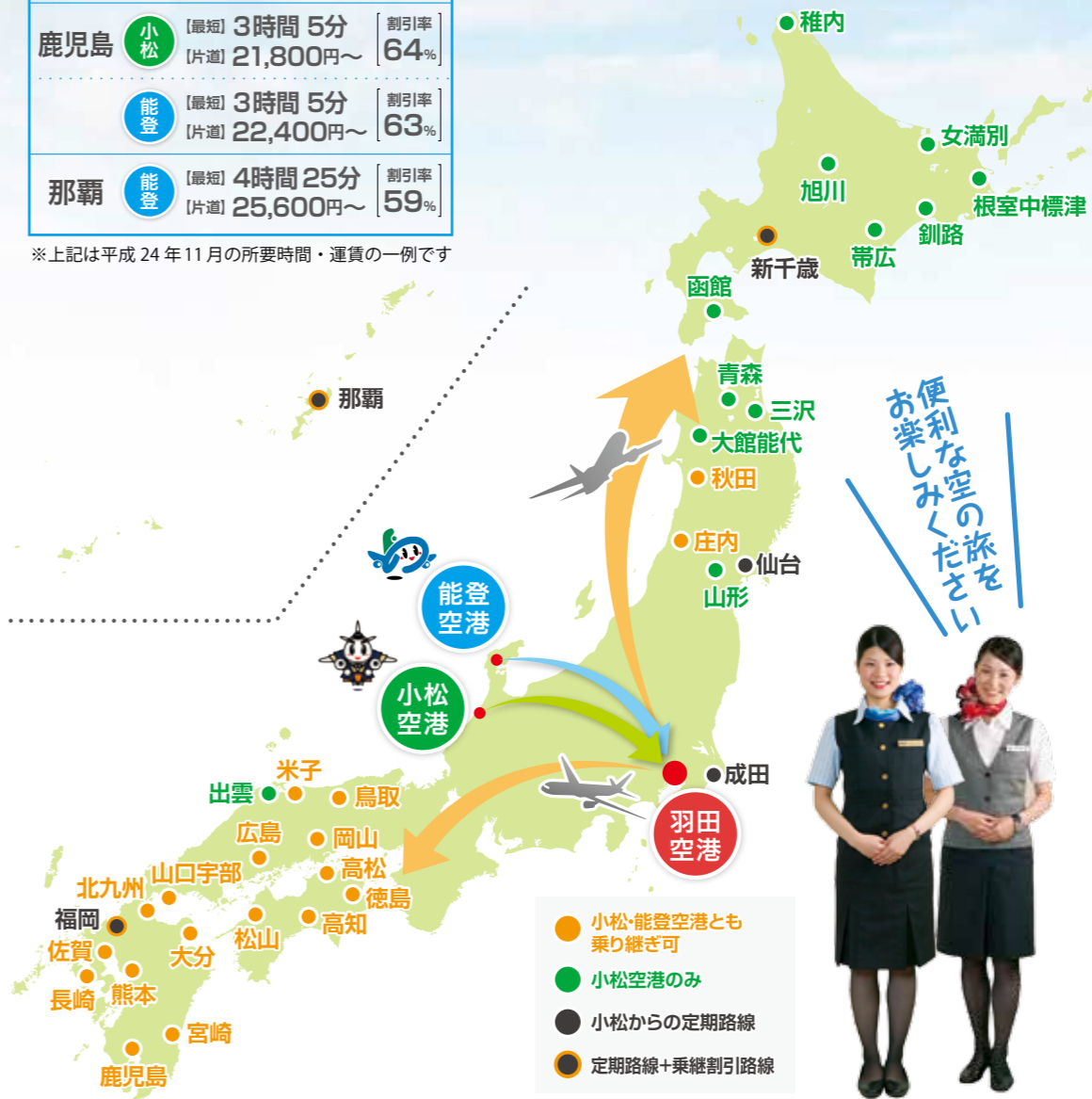
乗り継ぎを気軽に利用してもらうため、航空会社では特定区間で割引運賃を設定。区間は北海道から沖縄まで幅広く、小松空港では全国最多となる33区間、能登空港でも21区間で割引を実施しています。

割引率は早く予約するほど大きく、搭乗28日前までならば通常料金から最大65%引きで購入できます。搭乗当日でも最大43%引きで、急な出張などの際も大変お得です。

小松・能登から乗り継ぎで日本各地へ			
札幌 (新千歳)	能登	【最短】3時間5分 【片道】21,100円～	割引率 62%
釧路	小松	【最短】3時間35分 【片道】21,100円～	割引率 65%
高松	小松	【最短】2時間55分 【片道】22,400円～	割引率 56%
	能登	【最短】3時間5分 【片道】21,000円～	割引率 59%
鹿児島	小松	【最短】3時間5分 【片道】21,800円～	割引率 64%
	能登	【最短】3時間5分 【片道】22,400円～	割引率 63%
那覇	能登	【最短】4時間25分 【片道】25,600円～	割引率 59%

※上記は平成24年11月の所要時間・運賃の一例です

羽田乗り継ぎ便で  
快適な全国の旅へ



▲国際線到着ロビーでお客様を出迎えます

大好きな石川と台湾  
結び架け橋に

台北便が就航した平成20年から台湾語案内係を務めています。通訳として利用者の搭乗手続きや入国管理をサポートしたり、空港施設を案内したり、石川・台湾それぞれの観光情報を提供したりするなど、さまざまな仕事を担当しています。

もともと私は台北出身で、石川生まれの主人との結婚を機に10年前から加賀市で暮らしています。この間、能登から加賀まで県内各地を見て回り、石川の自然や歴史、人情が大好きになりました。2つの故郷を結び架け橋として、これからもすてきな旅のお手伝いをしていきたいと思っています。

そんな中でやりがいを感じる瞬間は、石川の旅を満喫して帰路につく旅行者の笑顔を見たときです。空港到着時に案内した方から、お帰りの際に「本当に助かりました。また、石川県にきたいです」と言っていたり、そんなときはうれしい気持ちでいっぱいになります。

小松空港 台湾語案内係  
畠中 君子さん



空港のお仕事

空港には、快適な空の旅を支えるためのさまざまな仕事があります。小松・能登両空港で働く方にお話を聞きました。



能登空港

能登の旅情報センター  
安原 俊克さん



いい思い出を  
持ち帰ってほしい

能登空港は空港初の道の駅でもあり、飛行機利用者だけでなく、能登有料道路や能越自動車道などからのドライバーも数多く訪れます。そのため、能登の旅情報センターでは、能登を中心に金沢や加賀、富山、福井までの広域な観光情報を取り扱っています。

旅行ニーズが多様化する現在、お客様の質問も多岐にわたりますが、できるだけピンポイントで応えられるよう、スタッフみんなが得意分野を磨いています。例えば、能登の歴史や道路情報に関することでしたら、私にお任せください。



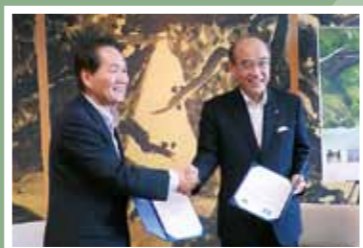
▲多彩な情報を提供する安原さん

飛行機を利用するお客様にとって、能登空港は能登の旅で最後に立ち寄る場所でもあり、たまたにお帰りになる前にセンターで苦情を話される方もいらっしゃいます。そんなとき、お客様の気持ちを少しでも和らげることも私の大切な仕事です。やはり、能登のいい思い出を一つでも多く持ち帰ってほしいからです。

香川県との強カタッグで誘客に力

石川県では今年7月、香川県と「観光パートナーシップ協定」を結びました。県同士が観光協定を交わすのは全国初の試みで、10月にはJR大阪駅で両県知事が参加し、合同のイベントを開催しました。今後も、羽田乗り継ぎ便を利用して交流を深めたりと、多彩な活動を予定しています。

遠く離れた北陸と四国でタッグを組んだきっかけは、観光資源に共通点が多かったことです。石川県は兼六園、香川県は栗林公園（高松市）と、ともに国の特別名勝に指定される大名庭園があり、加えて両県では伝統工芸も盛ん。これらの魅力を対比したPRを通して、新たな観光需要を掘り起こしていきたいと考えています。



▲協定を結び、浜田恵造香川県知事とがっちり握手を交わす谷本知事

利用促進に向けた  
全国組織を発足

今年8月には、日本各地の135の自治体などが参加する「航空乗継利用促進協議会」が発足し、金沢市で設立総会が開かれました。同協議会は、石川県などが発起人となって全国の自治体等と呼びかけてスタートした組織で、便利な航空乗り継ぎをもっと多くの人に知ってもらい、交流人口の拡大につなげていくことが目的です。

今後、協議会参加団体と共同で乗り継ぎ利用キャンペーンを実施していくほか、今年度は統一ロゴマークやキャラクターを公募する計画です。

▼航空乗継利用促進協議会設立総会の様子



●問い合わせ  
県空港企画課 TEL 076(225)1337



# 能登空港



濱名さんご一家 羽咋市在住



## 見学者デッキ

ターミナルビル3階の見学者デッキは、飛行機が間近で見られるとっておきのスポット。操縦席のパイロットに手を振ったりといったふれあいも魅力です。

営業時間/午前8時30分～午後5時30分  
入場料/無料



家族様には  
座席もあつよ

# 板本さんご一家 能美市在住



## 送迎デッキ

ターミナルビル3階にある送迎デッキでは出発前の航空機を間近に見ることができ、離着陸時は迫力満点。航空機ファン必見のポイントです。

営業時間/午前7時5分～午後8時  
入場料/大人50円、子ども30円  
(3歳未満無料)



迫力満点!

# 小松空港



飛行機に乗って行くんだね

## レストランあんのん

イチオシは「能登牛丼」(1500円)。ブランド牛の能登牛を使った能登牛丼で、一口ほおばるだけで幸せな気持ちになれるはず!

営業時間/午前9時～午後4時  
TEL.0768 (26) 2530



# 空港には遊び場がいっぱい

空港には、家族で楽しめる魅力がいっぱい。飛行機を利用しないときでもオススメのお出かけスポットです。

つづいて車で1分の  
“航空プラザ”に  
Go!

## CHECK!!! 能登空港、週末イベント情報

11/18 (日) 15:00～ 岩尾照尚による 馬頭琴コンサート	11/23 (金・初)～27 (火) 奥能登地区 税に関する作品 入選作品展
12/1 (土)～25 (火) のっぴーぬりえ “のっぴーサンタ”	12/23 (日) 9:30～ クリスマスイベント “サンタが飛行機で やってくる!”

## 能登空港おみやげ 人気ジャンル

### 和菓子

サツマイモをかたどった「いも菓子」など、能登で古くから親しまれる和菓子を数多く扱っています。

### 能登の調味料

奥能登に伝わる揚げ浜式製塩法で作られた塩や、能登特有の魚醤・いしりなど、地元調味料もいろいろ。

### 工芸品

能登を代表する伝統工芸・輪島塗が人気。特に、箸は種類も豊富で、手ごろな価格の品から幅広くそろえています。

※画像はイメージです



## のっぴーグラス作り

毎月第2日曜には、1階の能登の旅情報センターでイベント「のっぴーグラス作り」を開催。のっぴーとその月にちなんだ絵柄をあしらうことができます。12カ月の絵柄を集めてみませんか。

毎月第2日曜日  
午前10時～12時、午後1時～3時  
※参加無料。1日50組限定

## 展望広場

ターミナルビル南西側に位置する広場も飛行機を見るには絶好のポイント! さらに、遠くには七尾北湾を望むことができる気持ちのいいスポットです。



どい田は  
どい田は

車で1分の  
展望広場にも  
行ってみよう!

## フライト シミュレーター

最新型フライトシミュレーター3台を設置。その中には全日空で使われていたYS-11のシミュレーターもあり、パイロット気分が味わえます。

料金/YS-11シミュレーター 500円  
その他200円



## 展示場

館内では18機の実機を常設展示するほか、航空機の歴史や飛行原理などを楽しく学べるスペースもあります。



## 小松空港おみやげ 人気ジャンル

### 和菓子

キャピテンダントのクチコミで広がった栗むしようかんをはじめ、多彩な和菓子が人気を集めています。

### 地酒

能登から加賀まで、県内全域の地酒がそろっています。もちろん、地酒にぴったりな珍味も豊富です。

### 押し寿司

石川の食文化の一つ押し寿司。手軽に食べられ、航空機内でいただく空弁としてもおすすめです。

※画像はイメージです



## ぶ〜んぶんワールド

国内最大級の屋内飛行機型遊具「飛ぶう〜ん」、雲型クッション遊具「はねるう〜ん」からなるゾーンで、今年4月の完成以来、子どもたちに大人気です!

対象年齢/飛ぶう〜ん:6歳～12歳  
はねるう〜ん:6歳以下の幼児  
※6歳未満は保護者の同伴が必要です。

●問い合わせ  
北陸エアターミナルビル  
小松市浮柳町ヨ50番地先 TEL 0761 (23) 6111  
開館時間 午前6時50分～午後9時30分  
ホームページ [www.komatsuirport.jp/](http://www.komatsuirport.jp/)

●問い合わせ  
航空プラザ  
小松市安宅新町丙92番地 TEL 0761 (23) 4811  
開館時間 午前9時～午後5時  
入館料 無料(シミュレーター有料)  
休館日 年末年始  
ホームページ [www.pref.ishikawa.lg.jp/aviation/](http://www.pref.ishikawa.lg.jp/aviation/)



●問い合わせ  
能登空港ターミナルビル  
輪島市三井町洲衛10番11 TEL 0768 (26) 2000  
開館時間 午前8時30分～午後5時30分  
ホームページ [www.noto-airport.jp/](http://www.noto-airport.jp/)



Topics

# 次世代産業を 石川から

県では石川ならではの強みを生かした次世代産業の創造に力を入れています。その一つが重要な新素材として注目されている炭素繊維です。カネ・モノ・ヒトの三拍子そろった支援で、炭素繊維の一大生産拠点の形成を目指しています。

## カネ 次世代産業創造ファンド

県が力を注ぐ次世代産業には、炭素繊維のほか、航空機、次世代自動車、エネルギー、医療機器、機能性食品などの分野があり、今後の成長が期待されています。

こうした次世代産業の確立には、研究開発費など事業化に関わる資金を調達する必要があります。企業にとってはそれが大きな負担となるケースが少なくなく、県では、資金面の後押しをするため、平成22年に「いしかわ次世代産業創造ファンド」を創設しました。同ファンドは、県内7金融機関とともに立ち上げたもの

で、基金総額は130億円という、地域独自のファンドとしては全国でも例を見ない大規模なものです。その運用益（年間約1億円）で、企業と大学研究者とのマッチングから可能性調査や、新技術・新製品の研究開発に至るまで段階ごとにきめ細かな支援に取り組んでいます。中でも、有望な産業に関しては集中的に支援しており、平成22・23年度は「炭素繊維」「航空機」を、今年度は「炭素繊維」「エネルギー」に関わる分野から先進的なプロジェクトを採択し、手厚い補助を行っています。



ファンドに採択された事業を谷本知事に紹介

## ファンドの支援を受け

# 県内3社が航空機分野に挑戦

今後20年間で国内の航空機部品の需要が約2倍に増加すると見込まれる航空機分野も、炭素繊維同様に将来有望な産業分野です。県では、県内企業のものづくり技術を生かすため、航空機分野への参入を積極的にバックアップしています。

平成22年度のいしかわ次世代産業創造ファンドの採択企業で、機械加工や熱処理などを手がける県内の中小企業3社（高林製作所、浅下鍍金、深田熱処理工業）が、航空宇宙製品の特殊工程に関する国際認証「Nadcap」を取得しました。3社は航空機のタイヤの向きを変更するための部品の一貫生産体制を確立するなど、県の支援を受けながら受注に向けた動きを活発化しています。



## モノ 次世代産業創造支援センター

県工業試験場の敷地内に、昨年4月に開所した研究施設「いしかわ次世代産業創造支援

施設には多くの県内企業が訪れています



試験用フィルム成形機など最新設備をそろえています



センター内で成形した炭素繊維を用いたシート

センター」も、次世代産業創出に向けた重要な役割を担っています。センターでは、鉄に比べて強度が10倍、重さが1/4という優れた新素材である炭素繊維や、機能性食品関連の最先端の研究設備を整備。使用料を支払えば企業や

## ヒト いしかわ炭素繊維クラスター

大学などが自由に利用でき、炭素繊維の加工技術の確立や食品の機能評価などに役立てられています。

また、今年6月には県工業試験場に東京大学先端科学技

術研究センターの「石川サテライトオフィス」が開設。県では同センターと連携し、エネルギー分野に関わる県内中小企業の研究開発や事業化を後押ししています。

炭素繊維の一大生産拠点の形成を目指す「いしかわ炭素繊維クラスター構想」が今年度、文部科学省の「地域イノベーション」支援プログラムに採択されました。同構想は、金沢工業大学や金沢大学などと連携し平成21年に発足したプロジェクトで、加熱するこ

とで柔らかくなる熱可塑性の樹脂を使った炭素繊維複合材料の製造や加工法の確立、事業化に向けた人材の育成などに取り組んでいます。支援プログラムの採択によって、今後5年間で6億円の支援を受けることができ、県内外から研究者やコーディネ



クラスター構想のプロジェクトリーダーを務める金原勲金沢工業大学副学長



今年8月にいしかわ炭素繊維クラスター構想のキックオフイベントを開催

ネーターを招き、今後、研究開発や事業化に向けた動きを加速していく考えです。

## 開発レポート REPORT



一村産業（金沢市）代表取締役社長 石井 銀二郎さん

## プレス加工に適した炭素繊維のシートを開発



加工



自動車の車体など、さまざまな形で用いることができます

アクリル系繊維を炭化させた炭素繊維は、樹脂で固めた炭素繊維強化複合材料（CFRP）として幅広い用途で使われ、昨年は最新鋭旅客機の機体に採用されたことでも話題を集めました。ただ、これらは熱を加えると硬くなる性質を利用して成形するものがほとんどで、焼き固める必要があるなど、加工に時間とコストがかかってしまいます。それがネックとなり、CFRPの導入が期待される自動車への使用は一部の高級車にとどまっています。

そこで、当社では、加熱すると柔らかくなる熱可塑性CFRPを板状にしたカーボンファイバースタンパブルシート（CF-SS）を開発しています。CF-SSは鋼板と同じようにプレス機で簡単に加工することでコストダウンができ、自動車の量産にも対応可能です。現在、サンプルを配布し、業界に積極的な売り込みを続けています。

CF-SSを使えば大幅な軽量化を実現でき、格段に燃費性能の優れたエコカーの開発につながります。そのモデル事業として、北陸新幹線が開業する平成26年度末までにCF-SSがより多く使用された軽量車体の最新鋭巡回バスの製造を計画中で、石川から環境に優しい新素材を広くアピールしていきたいと考えています。



会議や会合などで忙しい毎日を送る私が、一番ほっとできる場所。自宅はもちろんですが、実は県外出張の際に乘る飛行機の中です。なぜなら、「ここだけは絶対に電話がかかってくるから」です。

機内では、できるだけ体を休めることにしています。その際にもってこないのが落語。ヘッドフォンをつけ機内サービスの寄席を聞いていると、いつの間にか深い眠りに落ちていきます。

おかげで、小松能登から羽田までの約1時間のフライトはあっという間。この「昼寝効果」ですっきりと頭がさえ、その後の仕事の効率が驚くほど上がります。

海外視察などで長時間、飛行機に乗る場合は別です。到着してから時差ぼけが出ないよう、睡眠や食事の時間を現地時間に合わせるなどの工夫をしています。そして、機内で映画を見たりもしますが、ひそかな楽しみは「メイドイン石川」探しです。

例えば、ボーイング社の最新鋭機の胴体や翼の材料には炭素繊維が使われていま



## 世界の空を飛ぶ 「メイドイン石川」

す。石川県内の工場でも生産されるこの炭素繊維は、鉄よりも強く、軽い特性を持ち、機体の軽量化で低燃費を追求する航空機開発の切り札的存在です。

今年5月のヨーロッパ視察の際は、念願かなってこの最新鋭機に乗ることができました。機内は明るくて快適そのもので、炭素繊維が飛行機の進化の一翼を担っていると思うと心が弾みました。このほか、洗面カウンターやファーストクラスのシートなどの内装材にも、県内メーカーの製品が優れた耐火性や軽量性を評価され採用されています。

また、日本発の国際線で石川の味が登場することも珍しくありません。機内食で石川の郷土料理やお米が使われたり、石川の地酒が採用されたりしています。残念ながら、またその機会に巡り合っていないかもしれませんが、世界に羽ばたく「石川ブランド」をもっと増やし、石川の魅力をアピールしていきたいと思っています。

smile 石川のボランティア

ほほえみ

加賀新舞踊  
初祥会  
(加賀市)

親しみやすい  
歌と振り付けが  
笑顔を誘う

一緒に踊り出す観客も

歌謡曲や演歌、民謡に合わせ、日本舞踊がベースの振り付けを演じる、新舞踊の教室「加賀新舞踊初祥会」では、普段の練習や発表会と並行して月に3〜4回、高齢者福祉施設を訪問し、歌と踊りを上演しています。加賀市と小松市を中心に活動中で、ときには金沢市やかほく市、福井県大野市の施設からも依頼があるなど、活躍の舞台は広がっています。

人気の秘密は、高齢の方々に親しみのある昭和の流行歌や山中節に合わせて披露している点で、昔懐かしいメロディーが始まると、観客からは自然と笑顔がこぼれます。演目が盆踊りでおなじみの炭坑節の時には、一緒に踊り出す方も珍しくないそう



舞ごとの衣装替えも好評で、観客の目を楽しませます＝グループホーム 陽らら(小松市)

です。

「笑顔と『また来てね』の声がうれしくて、新しい振り付けの創作にも熱が入ります」とほほえむのは、代表の西出初美さん。施設訪問に参加する生徒の皆さんも「見てもらえる場があるから、練習に身が入ります」と話していて、ボランティア活動が初祥会の大きなやりがいにつながっているようです。



会員は女性12人、男性1人で全員60〜70代。新舞踊に興味のある方ならだれでも参加できます

●問い合わせ  
加賀新舞踊 初祥会  
代表 西出初美  
TEL 0761(74)2252

平成25年  
4月1日  
無料化

# ふるさと紀行 『のと里山海道』に決定!

能登有料道路の愛称が

地図やカーナビへの  
使用を呼びかけ

能登と金沢を結ぶ大動脈になっている能登有料道路。来年4月1日の無料化を前に今年9月、能登有料道路の新しい愛称が、「ふるさと紀行」と「里山海道」に決まりました。

新愛称は全国から公募した中から選ばれたもので、世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」や、日本の素朴な原風景が残る「ふるさと」へと誘う道としてのイメージを発信しています。県では今後、地図やカーナビに愛称の使用を働きかけるなど、積極的なPR活動に取り組んでいきます。

柳田IC以南が  
全線4車線に

能登有料道路では、無料化による交通量増加への対応も着々と進んでいます。現在、粟崎IC(仮)(金沢市)



▲4車線化が進む白尾IC-大根布JCT(仮)間

—大根布JCT(仮)(内灘町)間(約3.4キロ)で直線化、大根布JCT(仮)—白尾IC(かほく市)間(約8.5キロ)で4車線化の工事が行われています。直線化は今年度中に暫定2車線で供用し、一方、4車線化は北陸新幹線金沢開業となる平成26年度中に完成する予定です。これにより、柳田IC(羽咋市)以南が全線4車線となるなど、より快適なドライブコースに生まれ変わります。

これら能登・金沢・加賀の交通アクセス強化に向けた取り組みにより、県内全域を回る周遊観光プランの作成や陸海空の物流拠点間の輸送時間の短縮などの効果が期待でき、人・ものの交流拡大につながります。



●問い合わせ 県道路建設課 TEL 076(225)1722





いしかわ子ども交流センター  
プラネタリウム  
ひゃくまんぼし

# 百万星



マスコット  
キャラクター  
「きらりん」

新番組  
12/1~

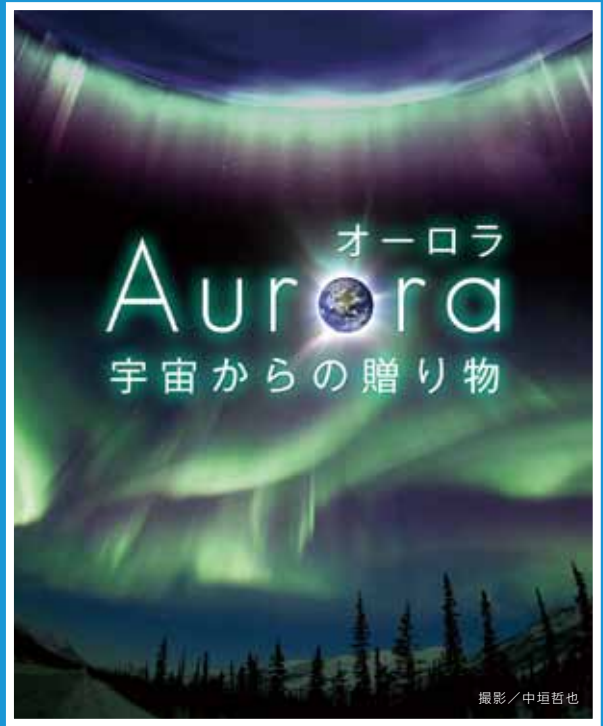
## 「オーロラ・宇宙からの贈り物」上映開始

いしかわ子ども交流センターのプラネタリウム「百万星」では、12月1日から新しい番組の上映をスタートします。新番組のテーマは神秘的な美しさを放つ“オーロラ”。地球だけでなく、木星や土星のオーロラを再現し、発生する仕組みも解説します。デジタル動画ならではの迫力ある映像をお楽しみください。

**上映時間** ①10:00~ ②11:00~ ③13:00~  
④14:00~ ⑤15:00~ ⑥16:00~  
⑦18:00~ (金・土限定) ⑧19:00~ (金・土限定)

平日の①~④の時間帯は学校等の団体向けです。  
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

**料金** 高校生以上400円、3歳以上100円、3歳未満無料



オーロラ  
Aurora  
宇宙からの贈り物

撮影/中垣哲也

● 問い合わせ いしかわ子ども交流センター 金沢市法島町11-8 TEL 076(243)6501 ホームページ [i-kodomo.sakura.ne.jp/](http://i-kodomo.sakura.ne.jp/)



「秋の山麓を走るバス」 版画:谷内正遠

### 明治10年8月、加賀藩前田家の出資により創業

明治9年の銀行条例改正を機にいち早く金沢に誕生したのが、北陸銀行の前身である「金沢第十二国立銀行」であり、明治10年7月2日(開業は8月26日)、時の大蔵卿「大隈重信公」から開業免許が下付されました。

資本金20万円のうち、加賀前田家から過半の14万円が出資され、初代頭取は御算用奉行などの要職を歴任し、福沢諭吉とも親交のあった「小幡和平」が就任しました。

また初代支配人の「米山道生」は、明治12年、第2代石川県会議長となり、明治13年1月金沢商法会議所(現金沢商工会議所)の初代会頭に任じられました。

明治初年の大変革期にあって、金沢回生の一翼を担ったのは、加賀藩士と今の北陸銀行でした。



●金沢第十二国立銀行開業免許の写  
(北陸銀行金融歴史資料館蔵)

金沢支店/〒920-8686 金沢市南町5-28 TEL.076-263-5131

[www.hokugin.co.jp](http://www.hokugin.co.jp)

お客様の「うれしい」を、私たちの「うれしい」に。北陸銀行

#### 前略 石川県知事

県政に対する  
ご意見・ご提言を  
お寄せください



住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、郵便またはファクスでお送りください。

〒920-8580 (住所の記入不要)  
石川県広報広聴室「前略 石川県知事」あて  
TEL 076 (225) 1362 FAX 076 (225) 1363

#### ふるさと納税

「ふるさと石川」の魅力アップに活用します。県外在住のご協力者を紹介してください。

●問い合わせ  
石川県県民交流課 TEL 076 (225) 1361  
[www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/furusatonouzei/](http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/furusatonouzei/)



環境保護のため、大豆インクを使用しています。紙は資源です。リサイクルしましょう。